

プロが薦める、この夏イチ押し！の本 ◎東京堂書店神田本店・佐野衛店長Ⅱ立花隆ゼミ「環境ホルモン入門」新潮社。環境破壊の中でも最近クロース・アッブされている、今後の人類にとっての重要問題。必読の書。ゼミの学生が理解しながら書いた、シッカリしてわかりやすい書物。納得すると同時に深刻でもある。○リプロ池袋店・関根明子・人文書マネージャーⅡ小熊英二「日本人の境界」新曜社。日常で、ほとんどの人が何の疑問もなく使っている

## 書店街

「日本人」という言葉は、いったいどこまでの範囲の人を指すのか、その範囲はどういう理由、経緯でそうなっているのかを鋭く問うた書。◎紀伊國屋書店新宿本店・谷理子Ⅱ「現代思想三月臨時増刊／総特集ステュアート・ホール」青土社。「カルチュラル・スタディーズ」を語るときに、軽視できない論客の一人。彼の名の引用度の高さの割に、この本が一冊の書籍の形をとっての初紹介というのは意外な気がする。基本文献として押さえておいて損はない。